

I 用言編

はじめに

文法とは…

（

（

=

+

（

）

）

）

古文が読める！！



Q 用言とは何ですか？

A （

）

※紛らわしい語に注意！
体言…名詞のこと。

動詞

…言い切りの形が（

）

）

形容詞

…言い切りの形が「

」の形になるもの。

形容動詞

…言い切りの形が「

「

」の形になるもの。

☆練習問題

次の古語を「動詞」「形容詞」「形容動詞」に分けてみよう。

- | | | | | | |
|------|------|---------|--------|------|-----|
| ⑦ 咲く | ② 死ぬ | ③ あり | ④ 蹴る | ⑤ 着る | ⑥ 来 |
| ⑧ す | ⑧ 無し | ⑨ あはれなり | ⑩ 漫漫たり | | |

動詞（

）

形容詞（

）

形容動詞（

）

Q 活用表の見方と作り方はわかりますか？

（例） 「書く」

書 ず

書 たり

書 。 （言い切り）

書 とき

書 ども

ば

書 。 （命令口調）

☆いざ！表にしてみよう！

書く	基本形
書	語幹
カ	行
か	未然形
き	連用形
く	終止形
く	連体形
け	已然形
け	命令形

☆左の空白に、何も見ずに表の枠を書けるようになるまで練習しよう！

☆じゃあ、覚悟はいい？ 一気に表にしちゃうよ？

基本形	語幹	行	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
書く	書	カ	か	き	く	く	け	け
死ぬ	死	ナ	な	に	ぬ	ぬる	ぬれ	ね
あり	あ	ラ	ら	り	り	る	れ	れ
蹴る	○	カ	け	け	ける	ける	けれ	けよ
受く	受	カ	け	け	く	くる	くれ	けよ
着る	○	カ	き	き	きる	きる	きれ	きよ
起く	起	カ	き	き	く	くる	くれ	きよ
来	○	カ	こ	き	く	くる	くれ	こよ
す	○	サ	せ	し	す	する	すれ	せよ
無し	無	○	から	かり	し	きる	けれ	かれ
うれし	うれ	○	しから	しかり	し	しきる	しけれ	しかれ
あはれ	あはれ	○	なら	なり	なり	なる	なれ	なれ
漫々たり	漫々	○	たら	たり	たり	たる	たれ	たれ

☆ここにあるのは最低限覚えて欲しいもの。この十三種類を基本に使いこなせば、動詞の活用表はマスターしたようなもの。でも今のままだとどういうものか分からないよね。

今回は言葉の意味と活用表ってこういうものなんだって理解してくれたら OK！後は、それぞれ確認して覚えていつて使えるようになってもらおうよ。

確認テスト

○ 次の（ ）に当てはまる言葉を答えよう。

用言とは（①）・（②）・（③）の三つの総称である。それぞれ言い切りの形に特徴があり、例えば、「書く」は（④）である。

用言は、下に続く言葉によって形が変化する。このことを（⑤）すると言う。その変化をまとめたものを（⑤）表という。上から順に、「基本形」「（⑥）」「行」「（⑦）形」「（⑧）形」「終止形」「（⑨）形」「（⑩）形」「命令形」で作る。

⑨	⑦	⑤	③	①
（	（	（	（	（
（	（	（	（	（
⑩	⑧	⑥	④	②
（	（	（	（	（
（	（	（	（	（